

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより 令和5年10月5日発行

10月の主な行事予定

- 10月12日(木)～13日(金)第45回全国公民館研究集会広島大会
- 10月14日(土)第4回中部地区人権教育懇談会
- 10月18日(水)倉吉東中学校CHA³プログラム(中学校トークプログラム)
- 10月26日(木)子育て・家庭教育支援員養成講座④

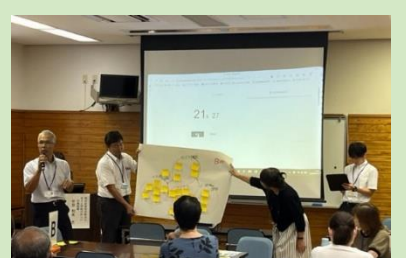
学校と地域をむすぶ

地域学校協働活動によるまちづくり・人づくり

9月29日、伯耆しあわせの郷で第4回鳥取県地域コーディネーター養成講座が開催されました。今年度も、文部科学省国立教育政策研究所 志々田まなみ氏とNPO法人まちと学校のみらい代表理事 文部科学省CSマイスター 竹原和泉氏にご講義いただきました。このお二人が揃って登壇されるのは鳥取県だけと言われるほど非常に貴重だそうです。今回も1日を通してエネルギッシュな二人のトークと熱量に負けないよう、参加者も熱心に話し合いました。

志々田氏が、地域コーディネーターを地域おこし隊が行っている事例を紹介されました。全く地域を知らなくても、人と人をつなぐのがコーディネーターなので、活動の中で自然と地域を知っていくといった発想に、思わず納得してしまいました。また、「協働」は立場や組織が違う人々が一緒に行うことで、仲よし同士の「協力」とは違うといった内容も印象的でした。竹原氏の内容では、「何をしようか？」ではなく「何のためにするのか」が最初であり、コンセプトを変えることが大事。学校のカリキュラム表のスクラップ&ビルドに、「ものさし」として優先順位をつけてみるとよいことや、学校の難しい判断の後ろ盾となるのが学校運営協議会であること、「CSは漢方薬であり糠床」（じわじわ浸透し、形骸化を防ぐために活性化が必要）であることなど、重要なキーワードがたくさんありました。

参加者にとって情報量の多い研修でしたが、短いと感じる1日だったようです。今後、全日程受講された方々は「鳥取県地域コーディネーター」として認定されます。みなさんの活躍に期待です！



今日も誰かの応援団 ～孤独孤立を防ぐ地域の拠点を目指して～



9月20日に第3回子育て・家庭教育支援員養成講座が開催されました。最初の講義は、一般社団法人スペースソラ代表理事である佐々木よしみさんでした。子育て中のママ達が立ち上げ、保育士・学校教育・看護師・助産師など異業種の専門スタッフが、赤ちゃんと高齢者まで地域の拠点として途切れない支援を行っており、その情熱と事業展開は非常に参考となりました。

2つ目の講義は、「子育て・親育ちプログラム」ファシリテーターとしてベテランの浅雄淳子さんでした。小気味よいトークとアイスブレイクで会場の雰囲気をつかみ、本プログラムを一通り行っていたいただきました。グループワークでは、自分に余裕がある時とない時の子どもへの声かけなど、子どもを元気にする言葉かけや接し方について、語り合うことができました。

ちゅうぶくん

～中部地区の催しに行こう!～
by石ちゃん



今回は、ちゅうぶ君一家で10月の催し物を探して紹介します。

倉吉市は施行70周年記念式典が未来中心であるよ
10月29日(日)
ばえん祭も10月15日(日)



私は三朝町の三徳山の炎の祭典が楽しみだわ
10月29日(日)
あれ、倉吉市と同じ日だわ!



湯梨浜町では子育て応援・商工フェスタが開催されるのよ!
10月15日(日)



琴浦町は面白い名前のフェスタが開催されるんだわ
その名は「とどのうら」
場所は総合運動公園
10月7日(土)

北栄町10月は特に無いみだから、先取りで11月情報を紹介しーちゃお!
11月5日(日)第6回北栄ふるさとまつり
11月3日～15日北栄文化回廊

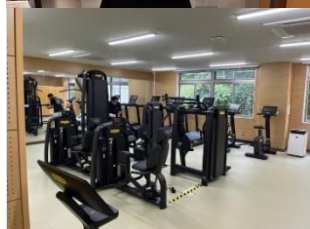


10月はみんなで中部の催し物に行きましょう!!



もっと知り隊!

さらにパワーアップ! 泊分館



今回は、昨年4月にリニューアルした、湯梨浜町中央公民館泊分館のその後を調査しました。フィットネスにちょうど良いと思っていった2階の部屋は、「げんき館スタジオプログラム」として、水曜日の休館日と日曜日以外、「青竹ビクス」「オキシジェン」の他にLIVE配信での「バレトン」「ピラティス」「骨盤リセットエクササイズ」など、健康プログラムが盛りだくさんでした。実際に資格を持った指導員さんが指導する部分と、それぞれ有名インストラクターによるLIVE配信を併せた、今どきのフィットネスジムになっていました。

また、1階のトレーニングルームも、指導員さんの常駐で、以前より利用しやすくなっています。私も数十分「青竹ビクス」と「バレトン」をやりましたが、汗だくになるほどでした。

ますますパワーアップした健康スポットに驚きました!

【あとうき】

中学生と地域の大人、そして大学生との言わば「語り場」である、CHA³プログラム(中学校トークプログラム)が年々増加中です。ふるさとキャリア教育につながる事業であり、参加される地域の方々も農業、公務員、経営者など様々。人生の先輩の生き方に触れ、若者たちが未来を語り、その姿に中学生はあこがれをもち、ふるさとのよさを再認識します。今年度、中部地区では4年ぶりの開催です。過去最大規模の人数になりますが、とても楽しみです!

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹
電話 0858-23-3253
FAX 0858-23-5203
E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

